

◆◆◆ 広告一覧 (五十音順) ◆◆◆

アネスアルファ……………表 2, i, ii
 アネスネット……………1141
 医学書院……………1171, 1185
 医書ジェーピー……………1136
 エム・ディー・マネジメント……………表 3
 メディカルブレーン……………1228

次号予告 2025 年 1 月号 Vol.32 No.1

[特集] きみたちは麻酔界をどうするのか

▼ 日本の医療の未来予想図

あいち小児保健医療総合センター 麻酔科 宮津 光範

▼ Choosing Wisely キャンペーンがもたらす未来

帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 小原 崇一郎

▼ 麻酔による地球環境負荷は軽減できるのか

市立貝塚病院 麻酔科・中央材料室 水谷 光

▼ Academic Anesthesiologist たれ

名古屋大学大学院医学系研究科 麻酔蘇生医学講座 田村 高廣

▼ 機は熟した

東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座 坪川 恒久

▼ 臨床医がなぜ基礎研究をするのか？

琉球大学大学院医学研究科 麻酔科学講座 神里 興太

▼ これからの麻酔科医としてあるべき姿とは

ボストン小児病院 麻酔科 結城 公一

[症例ライブラリー] 危機管理「発災」

東北大学病院 手術部・材料部 江島 豊

東北大学病院 麻酔科 阿部 望

横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科 佐藤 仁

熊本大学病院 中央手術部 生田 義浩

日本大学医学部 救急医学系救急集中治療医学分野 櫻井 淳

金沢大学医薬保健研究域医学系 麻酔・集中治療医学 谷口 巧

※誌面の都合により、内容は変わることがあります。

◆◆◆ 今月の our favorite ◆◆◆

ごあいさつ

徹底分析シリーズ「ECPR」と症例ライブラリー「術中の緊急コンバージョン」と、アドレナリンが大量放出されてそんなテーマがセットになりました。誰がリーダーシップを取ってもいいのてにかく救命を達成してほしいのは一市民として、「乗り切ったことに浸らず、一度立ち止まって、その患者において優先すべき管理目標があったらうか、と思ひ返す時間を意識的に作ること」(1154 ページ)をしてほしいのは LiSA の編集に携わる者としての願いです。(E)

「2024 のシェヘラザードたち」で出てきた Lambert-Eaton 筋無力症候群。初めて聞きました。医学生には必須の知識ではあるものの、非常にまれな疾患で、患者の自覚症状も薄く、初回の急変では鑑別に挙がらなかったとのこと。読者のみなさんがまれな疾患の知識を再確認する機会にしてほしいと思いました。2024 年とも購読ありがとうございました。(N)

毎年 12 月号では総目次を掲載しています。今年は、執筆者索引を合わせるとトータルで 9 ページになりました。2024 年の 1 年間の執筆者は計 275 人を数え、LiSA が多くの方々に支えられていることを実感します。元日の能登半島地震から、早一年。月並みですが、来年が皆様にとってよい年であることを願ってやみません。(H)

2024 年も無事に 12 冊をお届けすることができて、ホッとしています。執筆者ももちろんですが、企画検討にも非常に多くの方々に参画していただいています。最初の企画案が編集部には完璧に思えても、検討会で必ず企画者に新しい視点を提供され、出来上がった企画には深みと厚み加わっています。2025 年の企画にもすでに熱い議論が展開されていますので、どうぞご期待ください。1 年のご愛読、ありがとうございました。